

空間情報科学分野

Division of Spatial Information Science



村山祐司（教授）
専門分野：
GIS，空間解析，
都市・交通地理学

空間情報科学とは？

私達の身の回りの現象の多くは、「空間現象」として扱うことができます。空間現象は座標（緯度・経度・高度）や住所などによって位置や領域が特定でき、「空間データ」として記述されています。この空間データに含まれる位置や属性などの情報を整備し、その情報を操作する手段を探求し、様々な研究領域に応用していくのが空間情報科学です。その分析ツールとしてGISやリモートセンシング技術などを用います。当分野では空間情報科学における最新の技術や理論を積極的に応用して、地球環境や地域分析の新たな知見を提案し、関連諸科学の発展に寄与する研究を進めています。

空間情報科学分野の目標

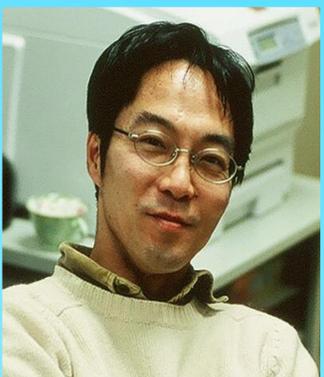
地理情報システム（GIS）・リモートセンシングといった空間情報技術を活用して、地球環境変化や人間活動を解析し研究することを目標としています。

SIS

親身の指導・熱意のスタッフ陣



森本健弘（講師）
専門分野：
農業・農村地理学，
土地利用研究，
GIS教育



日下博幸（講師）
専門分野：
気象学・気候学
（特に都市気候，
メソ気象，局地気象
数値モデリング）



空間情報科学分野のメンバー

研究プロジェクト

- 地理教育におけるGISの活用に関する研究
- 農業維持システムの地域動態的研究
- GISを活用した居住と自然環境との相互関係の解析
- オープンソースを利用した空間データ分析マシン（SDAM）の開発
- オープンソースを利用したフィールドワークGISの開発
- オブジェクト指向Web GISの開発と学校教育への応用の研究
- etc.